

TUSルーブリック（理工学部数学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	基礎学力（数学）	数学の専門的な学習を進める上で最も基礎となる土台の知識と基本的な考え方や手法を身につけているか。	0	数学の基本となる知識を習得できていない。
			1	数学の基本となる知識と手法を習得しつつある。
			2	数学の基本となる知識と手法を十分に身につけた。
			3	数学の基本となる知識と手法を非常によく身につけた。
2	基礎学力（各分野の基礎）	各分野の入門的な内容について、概念などの正確な把握および理論の正確な運用ができるか。	0	各分野の基礎を習得できていない。
			1	各分野の基礎を最低限の範囲で習得した。
			2	各分野の基礎を習得しているといえる。
			3	各分野の基礎を十分に習得した。
3	専門学力（代数学）	代数学一般の分野において、高いレベルの専門的知識を十分に備え、かつそれを用いた理論の展開を行うことができるか。	0	高いレベルの専門知識を獲得できていない。
			1	高いレベルの専門知識を最低限獲得できた。
			2	専門分野の理論を展開するために必要な高いレベルの専門知識を獲得した。
			3	高いレベルの専門的知識を十分に備え、かつそれを用いた理論の展開を行える。
4	専門学力（幾何学）	幾何学一般の分野において、高いレベルの専門的知識を十分に備え、かつそれを用いた理論の展開を行うことができるか。	0	高いレベルの専門知識を獲得できていない。
			1	高いレベルの専門知識を最低限獲得できた。
			2	専門分野の理論を展開するために必要な高いレベルの専門知識を獲得した。
			3	高いレベルの専門的知識を十分に備え、かつそれを用いた理論の展開を行える。
5	専門学力（解析学）	解析学一般の分野において、高いレベルの専門的知識を十分に備え、かつそれを用いた理論の展開を行うことができるか。	0	高いレベルの専門知識を獲得できていない。
			1	高いレベルの専門知識を最低限獲得できた。
			2	専門分野の理論を展開するために必要な高いレベルの専門知識を獲得した。
			3	高いレベルの専門的知識を十分に備え、かつそれを用いた理論の展開を行える。
6	専門学力（応用）	数学の高度な専門的知識を利用して課題を発見・解決する能力があるか。	0	問題を解決する能力が低い。
			1	問題を解決する能力が少しある。
			2	問題を解決する能力がある。
			3	問題を解決する能力が高い。
7	基礎学力（諸分野の知識）	数学のみならず、関連した周辺の諸科学や幅広い一般教養について、知識を十分に得ているか。	0	幅広い知識を習得していない。
			1	ある程度の知識を習得した。
			2	様々な知識を習得した。
			3	幅広い知識を十分に習得した。
8	基礎学力（横断的俯瞰能力）	数学に必ずしも関連しないものも含め自然・社会・人文科学についての十分な見識があるか。	0	幅広い知識を習得していない。
			1	ある程度の知識を習得した。
			2	様々な知識を習得した。
			3	幅広い知識を十分に習得した。
9	基礎学力（英語）	専門知識を得るために十分な読解力及び表現力が十分にあるか。	0	読解力と表現力が不十分である。
			1	読解力と表現力が少し身についた。
			2	読解力と表現力が身についた。
			3	読解力と表現力は十分身についた。
10	プレゼンテーション・コミュニケーション能力	自らが理解したことを他人に論理的かつ明確に伝えることが出来るか。理解の不十分な他人に対する配慮ができるか。	0	プレゼンテーション・コミュニケーション能力がたりない。
			1	プレゼンテーション・コミュニケーション能力がまだ低い。
			2	プレゼンテーション・コミュニケーション能力がある。
			3	プレゼンテーション・コミュニケーション能力が十分に高い。
11	研究者倫理	他者との議論や研究内容の選択・遂行・発表の諸段階において必要な倫理観が養われているか。	0	倫理観が養われていない。
			1	最低限の倫理観が養われている。
			2	十分な倫理観を持っている。
			3	高いレベルの倫理観がある。

TUSルーブリック（理工学部物理学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価			
1	数理的推論	物理学に必要な数学的能力（証明や推論の能力、計算力）を身につける。	0	物理学に必要な数理的推論や計算の能力がまったく不足している		
			1	物理学に必要な数理的推論や計算の能力が不十分である		
			2	物理学に必要な数理的推論や計算の能力があるが、ミスをすることがある		
			3	物理学に必要な数理的推論や計算の能力が十分あり、応用もできる		
2	力学/量子力学/原子核・素粒子/宇宙	まず力学、次いで宇宙を構成する基本粒子の法則である量子力学を学び、エネルギーや運動量など基本的物理量のふるまいを理解する。	0	力学と量子力学の法則や、エネルギーと運動量のふるまいをほとんど理解していない		
			1	力学と量子力学の法則や、エネルギーと運動量のふるまいの理解が不十分である		
			2	力学と量子力学の法則を理解している		
			3	力学と量子力学の法則を理解し、さまざまな物理現象に応用できる		
3	電磁気・電磁場・光	電荷・電流と電磁場によって表される電磁気学の法則を学び、光など電磁波の伝わり方を理解する。	0	電荷・電流・電磁場の性質をほとんど理解していない		
			1	電荷・電流・電磁場の性質の理解が不十分である		
			2	電荷・電流・電磁場・電磁波を十分に理解している		
			3	電荷・電流・電磁場・電磁波を十分に理解し、光学などに応用できる		
4	熱・波動・物質・環境・生命	温度とエントロピーの概念を学ぶ。波動の干渉や位相の概念を身につける。これらと量子力学に基づき、多数の原子や分子から成る物質の性質を学び、環境や生命への視点も養う。	0	熱・波動・物質の物理的な理解がほとんどできない		
			1	熱・波動・物質の物理的な理解が基本公式程度以下にとどまっている		
			2	量子力学や統計力学に関係づけて、熱・波動の干渉・原子分子の法則を理解している		
			3	量子力学や統計力学に基づいて、熱・波動・物質の法則を様々な物理現象に応用できる		
5	実験・演習・卒業研究	実験や演習を通じて、物理現象をつぶさに観察・考察し、定量的に信頼できる測定法・計算法と、測定や解析の結果の表現法を身につける。	0	学生実験や演習にきちんと取り組んでいない		
			1	学生実験と演習への取り組みを通じて身につけるべきことの一部に不十分なものがある		
			2	学生実験と演習に取り組んで、観察力、判断力や測定・解析法、表現法を身につけている		
			3	学生実験と演習を通じて身につけた観察力、判断力や測定・解析法、表現法を活用している		
6	コンピューター活用	計算機等を用いた計測データ処理やグラフ表現、プログラミングの能力を身につける。	0	普及型汎用ソフトを用いたデータ整理やレポート作成などがほとんどできない		
			1	普及型汎用ソフトを用いたデータ整理やレポート作成程度しかできない		
			2	科学技術のための計算プログラム作成やデータ処理・表現ができる		
			3	コンピューターを活用して、物理現象のシミュレーションや高度なデータ処理ができる		
7	科学倫理	実験などの機会を通じて、科学に対する社会からの信頼を損ねない判断力と態度を身につける。	0	不正防止や安全性・信頼性向上に無関心である		
			1	不正防止や安全性・信頼性向上に対する注意が不十分である		
			2	不正防止や安全性・信頼性向上に対する判断力をもっている		
			3	安全性・信頼性を判断し、その向上のための行動をとっている		
8	英語	現状では科学における国際共通語である英語の、読み、書き、聞き、話す能力を身につける。	0	英語の基本知識が欠けている（例えばTOEICスコアが約300以下）		
			1	英語の運用能力が不十分である（例えばTOEICスコアが約450以下）		
			2	英語の運用能力がある（例えばTOEICスコアが約600以上）		
			3	英語の運用能力が十分ある（例えばTOEICスコアが約750以上）		
9	言語（英語以外）・国際性・コミュニケーション・教育学	異文化に向き合う国際性を身につけ、コミュニケーションと情報発信の力を養う。	0	コミュニケーションの能力が著しく不足している		
			1	コミュニケーション能力やその向上のための努力がまだ十分でない		
			2	異なる背景をもつ相手ともコミュニケーションをとる能力が向上している		
			3	相手の文化的背景の理解を活かして、国際的な場でも積極的に交流できる。		
10	一般教養	物理学をとり巻く広い分野（自然科学・人文科学・社会科学）の素養を身につけ、物事を多面的に見る視野を養う。	0	物理学以外の科学・文化・社会に関する素養がほとんど、身につけていない		
			1	物理学以外の科学・文化・社会に関する素養が十分とはいえない		
			2	科学・文化・社会に関する全般的素養が身につけている		
			3	身につけた科学・文化・社会に関する全般的素養をもとに、それらのかかわりについても考えを深めている		

TUSルーブリック（理工学部情報科学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	コミュニケーション能力（国際性、語学力）	学習・教育目標A：他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力を身に付ける。特に英語を中心とするコミュニケーション能力を高め、専門分野の英語文献および講演を理解し、論文作成、発表等の能力を高める。	0	学習・教育目標Aに対する取組が不十分である。
			1	学習・教育目標Aを達成できるレベルにない。
			2	学習・教育目標Aを達成できるレベルにある。
			3	学習・教育目標Aを十分に達成できるレベルにある。
2	教養	学習・教育目標B：自然・人間・社会に係る幅広い教養を修得し、倫理観を養い、専門分野の枠を超えて横断的にものごとを俯瞰できる能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Bに対する取組が不十分である。
			1	学習・教育目標Bを達成できるレベルにない。
			2	学習・教育目標Bを達成できるレベルにある。
			3	学習・教育目標Bを十分に達成できるレベルにある。
3	基礎学力（専門）	学習・教育目標C：情報科学の基盤となる基礎数学および計算機科学の基礎知識を習得し応用できるようになる。	0	学習・教育目標Cに対する取組が不十分である。
			1	学習・教育目標Cを達成できるレベルにない。
			2	学習・教育目標Cを達成できるレベルにある。
			3	学習・教育目標Cを十分に達成できるレベルにある。
4	専門学力	<p>学習・教育目標D1：情報の不確かさ、大きさ、価値等を量として測るための知識を習得し、</p> <p>学習・教育目標D2：自然、社会、人間等の現象の「情報」に関わる問題を定式化し、現象の仮説（モデル、原理）を数理的に分析するための知識を習得し、実用上の問題点を解決、改善するための能力を身に付ける。</p> <p>学習・教育目標D3：情報を処理するために必要なシステムとしてのコンピュータおよびネットワークの仕組み、アルゴリズム、プログラミングに関する知識を習得し、現実問題に適用できる能力を身に付ける。</p>	0	学習・教育目標D1,D2,D3に対する取組が不十分である。
			1	学習・教育目標D1,D2,D3を達成できるレベルにない。
			2	学習・教育目標D1,D2,D3を達成できるレベルにある。
			3	学習・教育目標D1,D2,D3を十分に達成できるレベルにある。
5	問題発見および解決能力	学習・教育目標E：社会における多様な情報を論理的に分析し、問題の発見、さらにはその解決に貢献しうる能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Eに対する取組が不十分である。
			1	学習・教育目標Eを達成できるレベルにない。
			2	学習・教育目標Eを達成できるレベルにある。
			3	学習・教育目標Eを十分に達成できるレベルにある。

TUSルーブリック（理工学部応用生物科学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	教養全般	学士としての幅広い素養を身につけ、生物学・生命科学を取り巻く広い分野に対し、物事を多面的に見る視野を養う。 【人文科学・社会科学、保健体育、英語、その他の言語】	0	該当する科目に関する基礎的な知識や能力に欠ける。（評価D相当）
			1	該当する科目に関する最低限の基礎的な知識や能力を習得している。（評価C相当）
			2	該当する科目に関する基礎的な知識や能力をほぼ習得している。（概ね評価A-B相当）
			3	該当する科目に関する基礎的な知識や能力を習得していて、実際に活用できる。（概ね評価S-A相当）
2	自然科学科目（生物学以外）	生物学・生命科学を学び、研究を進める上で必要な数学、物理、化学、情報科学などの基礎知識 【基幹基礎科目、線形代数、数理統計】	0	自然科学科目に関する基礎的な知識や理解に欠ける。（評価D相当）
			1	自然科学科目に関する最低限の基礎的な知識や能力を習得している。（評価C相当）
			2	自然科学科目に関する基礎的な知識や能力をほぼ習得している。（概ね評価A-B相当）
			3	自然科学科目に関する基礎的な知識や能力を習得していて、実際に活用できる。（概ね評価S-A相当）
3	専門基礎能力	専門基礎、専門必修、専門選択必修の各科目の履修を通じて、生物学・生命科学の基礎的な専門 【専門基礎（実験以外）、専門必修（実験以外）、専門選択必修】	0	専門基礎分野に関する基礎的な知識や理解に欠ける。（評価D相当）
			1	専門基礎分野に関する最低限の基礎的な知識や能力を習得している。（評価C相当）
			2	専門基礎分野に関する基礎的な知識や能力をほぼ習得している。（概ね評価A-B相当）
			3	専門基礎分野に関する基礎的な知識や能力を習得していて、実際に活用できる。（概ね評価S-A相当）
4	専門応用能力	専門選択必修、専門選択の各科目の履修を通じて、生物学・生命科学の応用的な専門知識を身 【専門選択必修、専門選択】	0	専門応用分野に関する基礎的な知識や理解に欠ける。（評価D相当）
			1	専門応用分野に関する最低限の基礎的な知識や能力を習得している。（評価C相当）
			2	専門応用分野に関する基礎的な知識や能力をほぼ習得している。（概ね評価A-B相当）
			3	専門応用分野に関する基礎的な知識や能力を習得していて、実際に活用できる。（概ね評価S-A相当）
5	実験遂行力、論理的思考力	研究の背景や展開を論理的に考え、それを証明する実験を遂行する能力を体得していること。 ・学部1-3年生では、実験内容の位置づけを理解し、それを行う上で必要な基本操作を習得していること。また背景となる情報を収集し、結果と共に論理的にまとめる基礎力を習得していること。 ・卒業研究では、習得した知識を基に、問題解決のための実験計画を立案し、継続して実行する能力を身につけている。また各自の実験を立案し解釈するための情報収集力および論理的思考力が身につけていること。 【実験科目、卒業研究】	0	実験技術等の実践的能力や論理的思考力が身につけていない。問題の解決・解明に向けた努力が出来ない。（評価D相当）
			1	実験技術などの実践的能力や論理的思考力を最低限習得している。問題の解決・解明に向けて、指示に従って努力できる。（評価C相当）
			2	実験技術などの実践的能力や論理的思考力をほぼ習得している。問題の解決・解明に向けて、目標を設定して努力出来る。（概ね評価A-B相当）
			3	実験技術などの実践的能力や論理的思考力を十分に身につけている。問題の解決・解明に向けて、目標を設定して努力出来、結果の評価を行うことができる。（概ね評価S-A相当）
6	コミュニケーション能力（含国際性）、表現力	・社会で活躍するために必要な情報発信が出来る力を養う（表現力、プレゼンテーション能力） ・国外での活躍を視野に入れ、国際性を身につける上で必要な語学の基礎的な能力を養い、表現力を広げる。 ・各自の研究をまとめた発表が出来る表現力をつける。 【英語、その他の言語、実験科目、卒業研究】	0	該当する科目で求められた表現力やコミュニケーション能力、国際性に関する能力が身につけていない。（評価D相当）
			1	該当する科目で求められた表現力やコミュニケーション能力、国際性に関して、初歩の能力を習得している。（評価C相当）
			2	該当する科目で求められた表現力やコミュニケーション能力、国際性に関する能力をほぼ習得している。（概ね評価A-B相当）
			3	該当する科目で求められた表現力やコミュニケーション能力、国際性に関する能力を習得していて、実際に活用出来る。（概ね評価S-A相当）
7	研究倫理の理解	各講義・演習・実験科目のレポート課題作成を通して、文書作成に関わる知的財産に対する意 【実験科目、卒業研究、レポート課題を課す講義科目】	0	研究における倫理の重要性を理解できていない。（評価D相当）
			1	研究における倫理の重要性について最低限の理解がある。（評価C相当）
			2	研究における倫理の重要性をほぼ理解している。（概ね評価A-B相当）
			3	研究における倫理の重要性を理解し、物事に倫理観をもって対応できる。（概ね評価S-A相当）

TUSルーブリック（理工学部建築学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	基礎学力	基幹基礎・一般科目(英語) 知識と訓練された思考力の養成	0	基礎学力は不十分である
			1	必要最低限の基礎学力を有している
			2	標準的な基礎学力を有している
			3	十分な基礎学力を有している
2	基礎教養能力	一般科目(人間科学)+自由科目 理工学分野で求められる強い倫理観と豊かな人間性 (学部教育を通じて修得した知識と訓練された思考力をもとに、科学技術の分野のみならず社会における多様な情報を横断的かつ論理的に分析し、問題の発見、さらにはその解決に貢献しうる能力を有する。)	0	基礎教養能力は不十分である
			1	必要最低限の基礎教養能力を有している
			2	標準的な基礎教養能力を有している
			3	十分な基礎教養能力を有している
3	建築基礎能力	専門基礎・必修 (建築学科の学問分野における幅広い基礎的知識をもとに、建築や住環境に関わる分野における原理と応用を体系的に身に付けている。)	0	建築基礎能力は不十分である
			1	必要最低限の建築基礎能力を有している
			2	標準的な建築基礎能力を有している
			3	十分な建築基礎能力を有している
4	建築専門知識・能力(計画・設計系)	選択必修 + 選択 (建築計画、建築意匠、建築設計、建築史、都市計画など、建築や住環境に関わる分野における十分な知識を礎として、社会及び自然環境に対して客観的判断をもとに責任ある態度をとることができる。)	0	建築専門知識・能力(計画・設計系)は不十分である
			1	必要最低限の建築専門知識・能力(計画・設計系)を有している
			2	標準的な建築専門知識・能力(計画・設計系)を有している
			3	十分な建築専門知識・能力(計画・設計系)を有している
5	建築専門知識・能力(材料・防災系)	選択必修 + 選択 (建築材料、建築防災など、建築や住環境に関わる分野における十分な知識を礎として、社会及び自然環境に対して客観的判断をもとに責任ある態度をとることができる。)	0	建築専門知識・能力(材料・防災系)は不十分である
			1	必要最低限の建築専門知識・能力(材料・防災系)を有している
			2	標準的な建築専門知識・能力(材料・防災系)を有している
			3	十分な建築専門知識・能力(材料・防災系)を有している
6	建築専門知識・能力(構造系)	選択必修 + 選択 (建築構造、建築構造力学、地震工学など、建築や住環境に関わる分野における十分な知識を礎として、社会及び自然環境に対して客観的判断をもとに責任ある態度をとることができる。)	0	建築専門知識・能力(構造系)は不十分である
			1	必要最低限の建築専門知識・能力(構造系)を有している
			2	標準的な建築専門知識・能力(構造系)を有している
			3	十分な建築専門知識・能力(構造系)を有している
7	建築専門知識・能力(環境系)	選択必修 + 選択 (建築環境工学、建築設備など、建築や住環境に関わる分野における十分な知識を礎として、社会及び自然環境に対して客観的判断をもとに責任ある態度をとることができる。)	0	建築専門知識・能力(環境系)は不十分である
			1	必要最低限の建築専門知識・能力(環境系)を有している
			2	標準的な建築専門知識・能力(環境系)を有している
			3	十分な建築専門知識・能力(環境系)を有している
8	コミュニケーション・プレゼンテーション能力(国際性、語学力、表現力)	相手の話を聞き入れ、自らの考えを伝えるコミュニケーション及びプレゼンテーションの能力を有する。特に英語などの外国語を中心としたコミュニケーション能力を推進することにより、情報収集、情報発信することができる。	0	コミュニケーション・プレゼンテーション能力は不十分である
			1	必要最低限のコミュニケーション・プレゼンテーション能力を有している
			2	標準的なコミュニケーション・プレゼンテーション能力を有している
			3	十分なコミュニケーション・プレゼンテーション能力を有している

TUSルーブリック（理工学部先端化学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	基礎学力（基礎科学）	学習・到達目標A: 数学、物理学、基礎化学など専門科目を理解するために必要な基礎科学を習得する。	0	学習・到達目標Aに対する取組が不十分である。
			1	学習・到達目標Aに対して取り組んでいるが、目標に達成できるレベルに達していない。
			2	学習・到達目標Aを達成できるレベルにある。
			3	学習・到達目標Aを十分に達成し、得た知識を活用できるレベルにある。
2	基礎学力（専門）	学習・到達目標B: 無機化学・有機化学・物理化学・分析化学の各分野につながる専門基礎を習得する。	0	学習・到達目標Bに対する取組が不十分である。
			1	学習・到達目標Bに対して取り組んでいるが、目標に達成できるレベルに達していない。
			2	学習・到達目標Bを達成できるレベルにある。
			3	学習・到達目標Bを十分に達成し、得た知識を活用できるレベルにある。
3	専門技術（実験技術と考察力）	学習・到達目標C: 基礎的な実験操作とその応用力を修得し、実験で得られた結果の解析・考察力を身につける。	0	学習・到達目標Cに対する取組が不十分である。
			1	学習・到達目標Cに対して取り組んでいるが、目標に達成できるレベルに達していない。
			2	学習・到達目標Cを達成できるレベルにある。
			3	学習・到達目標Cを十分に達成し、得た知識を活用できるレベルにある。
4	国際性（英語）	学習・到達目標D: 国際的な科学技術の進展が理解でき、自身の研究成果を世界中に発信できる英語力を身につける。	0	学習・到達目標Dに対する取組が不十分である。
			1	学習・到達目標Dに対して取り組んでいるが、目標に達成できるレベルに達していない。
			2	学習・到達目標Dを達成できるレベルにある。
			3	学習・到達目標Dを十分に達成し、得た知識を活用できるレベルにある。
5	論理構成力・横断的思考力・課題発見力	学習・到達目標E: わかりやすく論理的に記述する力、プレゼンテーション力を身につける。横断的にものごとを俯瞰できる能力を身につける。 自ら課題を発見し、解決する能力を身につける。	0	学習・到達目標Eに対する取組が不十分である。
			1	学習・到達目標Eに対して取り組んでいるが、目標に達成できるレベルに達していない。
			2	学習・到達目標Eを達成できるレベルにある。
			3	学習・到達目標Eを十分に達成し、得た知識を活用できるレベルにある。
6	教養・倫理観・コミュニケーション力	学習・到達目標F: 科学技術に関する基礎学力のほか、技術者として必要な教養、倫理観、社会性、コミュニケーション力を身につける。	0	学習・到達目標Fに対する取組が不十分である。
			1	学習・到達目標Fに対して取り組んでいるが、目標に達成できるレベルに達していない。
			2	学習・到達目標Fを達成できるレベルにある。
			3	学習・到達目標Fを十分に達成し、得た知識を活用できるレベルにある。

TUSルーブリック（理工学部電気電子情報工学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価			
1	地球的視点で考える能力	社会人として、地球環境などに関する基礎知識を習得し、多面的に物事をとらえることのできる能力と、技術者として社会貢献できる素養を養う。	0	地球的視点で考えるための基礎知識を理解できていない		
			1	地球的視点で考えるための基礎知識を概ね理解している		
			2	地球的視点で考えるための基礎知識を理解し、多面的に物事をとらえることができる		
			3	地球的視点で考えるための基礎知識を理解・活用し、社会貢献できる素養を養うことができる		
2	技術者倫理を理解する能力	技術者として、社会・地球環境・技術に対する倫理観および社会に負っている責任を理解する能力を養う。	0	技術者倫理の基礎知識を理解できていない		
			1	技術者倫理の基礎知識を概ね理解している		
			2	技術者倫理の基礎知識を理解し、倫理観をもって物事をとらえることができる		
			3	技術者倫理の基礎知識を理解・活用し、社会に負っている責任を理解する素養を養うことができる		
3	コミュニケーション能力	日本語による論理的な記述、プレゼンテーション、ディスカッションなどのコミュニケーション能力、国際的に通用する基礎的コミュニケーション能力を養う。	0	論理的記述・プレゼンテーションの基礎知識を理解できていない		
			1	論理的記述・プレゼンテーションの基礎知識を概ね理解している		
			2	プレゼンテーションの基礎知識を理解し、論理的にディスカッションできる		
			3	プレゼンテーション・ディスカッションを活用し、コミュニケーションを円滑に行うことができる		
4	数学、自然科学と情報活用能力	工学技術者として、また専門基礎能力を身につけるために必要不可欠な数学、自然科学、情報活用能力を習得する。	0	数学・自然科学の基礎知識を理解できていない		
			1	数学・自然科学の基礎知識を概ね理解している		
			2	数学・自然科学の基礎知識を理解し、多面的に物事をとらえることができる		
			3	数学・自然科学の基礎知識を理解・活用し、工学技術者としての専門能力を身に付けることができる		
5	専門基礎能力	工学技術者として、また電気・電子・情報・通信工学に関する専門知識・技術を身につけるためにそれらの基礎的知識を習得する。	0	電気・電子・情報分野の基礎知識を理解できていない		
			1	電気・電子・情報分野の基礎知識を概ね理解している		
			2	電気・電子・情報分野の基礎知識を理解し、多面的に物事をとらえることができる		
			3	電気・電子・情報分野の基礎知識を理解・活用し、工学技術者としての専門能力を身に付けるための素養ができる		
6	専門応用能力	工学技術者として、電気・電子・情報・通信工学に関する専門知識・技術を習得し、専門分野への展開・応用能力を習得する。	0	電気・電子・情報分野の専門知識を理解できていない		
			1	電気・電子・情報分野の専門知識を概ね理解している		
			2	電気・電子・情報分野の専門知識を理解し、多面的に物事をとらえることができる		
			3	電気・電子・情報分野の専門知識を理解・活用し、工学技術者としての応用能力を身に付けるための素養ができる		
7	計画・遂行・継続能力	与えられた制約のもとで、専門的知識、技術を駆使して、実験などを計画・遂行し、得られた結果に対し考察する能力、および自主的・継続的に学習できる能力を養う。	0	計画・遂行・継続するために必要な基礎・専門知識を理解できていない		
			1	計画・遂行・継続するために必要な基礎・専門知識を概ね理解している		
			2	計画・遂行・継続するために必要な基礎・専門知識を理解し、自主的に考察・学習する力を養うことができる		
			3	計画・遂行・継続するために必要な基礎・専門知識を理解し、考察・学習を自主的・継続的にこなすことができる		
8	課題設定能力	電気・電子・情報・通信工学に関連する問題点を調査・理解し、課題として設定できる能力を養う。	0	分野の問題点・課題を理解するために必要な基礎・専門知識を理解できていない		
			1	分野の問題点・課題を理解するために必要な基礎・専門知識を概ね理解している		
			2	分野の問題点・課題を理解するために必要な基礎・専門知識を用いて、分野の問題点を調査・理解することができる		
			3	分野の問題点・課題を理解するために必要な基礎・専門知識を用いて、その解決方法を設定することができる		
9	デザイン能力	社会からの要求を調査し、問題を発掘し、解決方法を立案・計画し、問題解決のために遂行し、その結果を評価・考察・ディスカッションし、報告書などにまとめることのできる能力を養う。	0	社会からの要求を調査するために必要な能力を身につけていない		
			1	社会からの要求を調査するために必要な能力を概ね身につけている		
			2	社会からの要求に対し、解決方法を計画・立案することができる		
			3	社会からの要求に対し、解決方法を計画・立案したものを遂行し、まとめることができる		
10	チームワーク能力	他者と協働する際に、自己のなすべき行動を的確に判断し実行する能力や、他者の取るべき行動を判断して適切に働きかける能力を養う。	0	他者と協働するために必要な能力を身につけていない		
			1	他者と協働するために必要な能力を概ね身につけている		
			2	他者と協働する際に、適切な行動を判断することができる。		
			3	他者と協働する際に、適切な行動を判断し、実行することができる		

TUSルーブリック（理工学部経営工学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価			
1	経営工学基礎学力	目標A：経営工学の分野に共通の基礎学力及び経営工学の原理と応用を体系的に身に付ける。一般科目の履修により身に付けた豊かな教養をもとに、社会及び自然環境に対して客観的判断をもとに正しい倫理観や人間性をもつこと。	0	目標Aに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Aの達成レベルに到達していない		
			2	目標Aの達成レベルに達した。		
			3	目標Aの達成レベルに十分達している。		
2	経営工学応用能力	目標B：専門基礎と訓練された思考力をもとに、社会における多様な情報を論理的に分析し、種々の問題を発見、さらにはその解決に貢献しうる能力を身につける	0	目標Bに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Bの達成レベルに到達していない		
			2	目標Bの達成レベルに達した。		
			3	目標Bの達成レベルに十分達している。		
3	生産システム工学専門能力	目標C：情報、設備、人、資金といった経営資源をフルに活用し、原料の調達から製品の生産・販売までの迅速でスムーズな「ものの流れ」を経済的に実現する能力を身につける。	0	目標Cに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Cの達成レベルに到達していない		
			2	目標Cの達成レベルに達した。		
			3	目標Cの達成レベルに十分達している。		
4	社会システム工学専門能力	目標D：会社、工場や地球環境などのきわめて複雑な仕組みをシステムと考え、その構築要素間の関係を多数の数式や論理式で記述したモデルで表現し、対象システムの改善策を実験及びシミュレーション等により探求する能力を身につける。	0	目標Dに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Dの達成レベルに到達していない		
			2	目標Dの達成レベルに達した。		
			3	目標Dの達成レベルに十分達している。		
5	情報システム工学専門能力	目標E：企業活動や社会活動などにおいて、情報技術を活用し、具体的な情報システムの設計・開発能力を身につける。	0	目標Eに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Eの達成レベルに到達していない		
			2	目標Eの達成レベルに達した。		
			3	目標Eの達成レベルに十分達している。		
6	管理システム工学専門能力	目標F：企業活動や社会活動を科学的に分析し、その活動の妥当性を評価、および改善する能力を身につける。	0	目標Fに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Fの達成レベルに到達していない		
			2	目標Fの達成レベルに達した。		
			3	目標Fの達成レベルに十分達している。		
7	経営数理専門能力	目標G：企業活動、社会活動など、人間の行う事業を効率的に遂行するために、行動や現象を数学モデルや統計モデルで表現し、科学的で客観的な最適解を得る能力を身につける。	0	目標Gに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Gの達成レベルに到達していない		
			2	目標Gの達成レベルに達した。		
			3	目標Gの達成レベルに十分達している。		
8	横断的思考力	目標H：一般科目の履修を通じて、人文科学、社会科学、自然科学、倫理観、保健体育の能力を身に付け、横断的な思考力を身に付けている。	0	目標Hに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Hの達成レベルに到達していない		
			2	目標Hの達成レベルに達した。		
			3	目標Hの達成レベルに十分達している。		
9	国際性	目標I：英語をはじめとする外国語科目の履修を通じて、外国語の会話能力を身に付けている	0	目標Iに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Iの達成レベルに到達していない		
			2	目標Iの達成レベルに達した。		
			3	目標Iの達成レベルに十分達している。		
10	問題解決能力	目標J：すべての知識を総合応用して、専門的な問題解決能力、記述能力、そしてプレゼンテーション能力に他者とのディスカッション・コミュニケーション能力を身につける。	0	目標Jに対する取り込みが不十分。		
			1	目標Jの達成レベルに到達していない		
			2	目標Jの達成レベルに達した。		
			3	目標Jの達成レベルに十分達している。		

TUSルーブリック（理工学部機械工学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価			
1	一般教養・基礎学力	学習・教育目標A：機械工学の分野に共通の基礎学力を身に付ける。また、機械工学を取り巻く広い分野（自然科学・人文科学・社会科学）の素養を身につけ、物事を多面的に見る視野を養う。	0	学習・教育目標Aに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Aを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Aを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Aを十分に達成できるレベルにある。		
2	機械力学専門能力	学習・教育目標B：機械力学に関する専門知識・技術を修得し、機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Bに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Bを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Bを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Bを十分に達成できるレベルにある。		
3	材料力学専門能力	学習・教育目標C：材料力学に関する専門知識・技術を修得し、機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Cに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Cを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Cを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Cを十分に達成できるレベルにある。		
4	熱力学専門能力	学習・教育目標D：熱力学に関する専門知識を修得し、熱システムを構想・開発、また機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Dに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Dを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Dを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Dを十分に達成できるレベルにある。		
5	流体力学専門能力	学習・教育目標E：流体力学に関する専門知識を修得し、流体システムを構想・開発、また機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Eに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Eを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Eを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Eを十分に達成できるレベルにある。		
6	設計工学・機械要素設計・トライボロジー専門能力	学習・教育目標F：設計工学、機械要素設計、トライボロジーに関する専門知識・技術を修得し、機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Fに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Fを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Fを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Fを十分に達成できるレベルにある。		
7	生産工学・加工学専門能力	学習・教育目標G：生産工学、加工学に関する専門知識・技術を修得し、機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Gに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Gを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Gを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Gを十分に達成できるレベルにある。		
8	計測制御・自動制御・ロボット工学専門能力	学習・教育目標H：計測制御、自動制御、ロボット工学に関する専門知識・技術を修得し、機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Hに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Hを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Hを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Hを十分に達成できるレベルにある。		
9	機械材料学専門能力	学習・教育目標I：機械材料学に関する専門知識・技術を修得し、機械工学分野へ展開・応用する能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Iに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Iを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Iを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Iを十分に達成できるレベルにある。		
10	問題解決能力	学習・教育目標J：修得した知識と訓練された思考力をもとに、自然科学・科学技術の分野のみならず社会における多様な情報を論理的に分析し、問題の発見、さらにはその解決に貢献しうる能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Jに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Jを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Jを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Jを十分に達成できるレベルにある。		
11	語学/コミュニケーション/国際的な視野/倫理	学習・教育目標K：倫理観と異文化に向き合う国際性を身につけるため、外国語（特に英語）の能力を高め、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力を身に付ける。	0	学習・教育目標Kに対する取組が不十分である。		
			1	学習・教育目標Kを達成できるレベルにない。		
			2	学習・教育目標Kを達成できるレベルにある。		
			3	学習・教育目標Kを十分に達成できるレベルにある。		

TUSルーブリック（理工学部土木工学科：2021年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	基礎学力	学習・教育目標A：土木技術に必要な数学、物理、情報技術などの基礎知識を習得するとともに、応用できるようになる。	0	目標Aへの取組みが不十分である。
			1	目標Aの学力が伸びてきている。
			2	目標Aを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Aを十分に達成できる。
2	専門分野の学力	学習・教育目標B：土木工学のすべての主要専門分野（構造・材料、地盤、水理、環境・情報、計画）の基礎知識を習得するとともに、応用できるようになる。	0	目標Bへの取組みが不十分である。
			1	目標Bの学力が伸びてきている。
			2	目標Bを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Bを十分に達成できる。
3	実務課題の理解	学習・教育目標C：土木工学の実務的な課題を理解し、それを解決するのに必要な知識を獲得できるようになる。	0	目標Cへの取組みが不十分である。
			1	目標Cの学力が伸びてきている。
			2	目標Cを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Cを十分に達成できる。
4	技術者倫理	学習・教育目標D：土木技術が自然・社会に及ぼす影響・効果を理解し、その社会的役割と責任を認識し、技術者倫理に基づいて判断できるようになる。	0	目標Dへの取組みが不十分である。
			1	目標Dの学力が伸びてきている。
			2	目標Dを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Dを十分に達成できる。
5	多面的な素養	学習・教育目標E：自然・社会と調和する形で土木技術を適用できるように、自然・人文・社会科学などを通じて多面的な素養を身につける。	0	目標Eへの取組みが不十分である。
			1	目標Eの学力が伸びてきている。
			2	目標Eを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Eを十分に達成できる。
6	チーム力・デザイン能力	学習・教育目標F：自分自身で、またはチームで協力しながら、土木工学に関する課題を見出し、与条件の下でそれを解決するための計画を立て、試行・検討・実行できるようになる。	0	目標Fへの取組みが不十分である。
			1	目標Fの学力が伸びてきている。
			2	目標Fを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Fを十分に達成できる。
7	論理構成力	学習・教育目標G：分かりやすく論理的に記述する力、プレゼンテーション力、建設的な議論ができる力を身につける。	0	目標Gへの取組みが不十分である。
			1	目標Gの学力が伸びてきている。
			2	目標Gを達成できるだけの学力をもつ。
			3	目標Gを十分に達成できる。